

別紙様式2

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業および研究協議の要旨

市町村名 熊取町
 実践研究校名 熊取南中学校

【公開授業】公開日：平成 25 年 7 月 5 日
 対象学年：中学3年

(教材・教科書名) NEW CROWN 3 (单元名) Lesson4 The story of Sadako	(本時の指導の目標) ・視覚資料を使って堂々とプレゼンテーションする ・プレゼンテーションの内容を理解し、英単語を聞き書き取る。
---	--

(本時の授業において工夫した点)

- ・一人ひとりにとって居心地の良い場所にするために雰囲気作りを大切にしました。
- ・プレゼンテーションの順番を決める方法を工夫することで班員が協力し楽しくとりくめるようにしました。
- ・スロー・ラーナーも前向きに参加できるように、グループワークを取り入れた。
- ・全員が必ず英語を話す機会を設けた。話すだけではなく、「聞く・書く」活動もとり入れた。
- ・友人の良いところを見つけるように「本日のキラキラさん」欄をワークシートに設けた。

(授業後の振り返り)

- ・挨拶、チャンツ、今月のメッセージは大きな声で言い、スムーズであった。
- ・導入はみんな必死になり、楽しくとりくんでいた。教えあう姿が印象的であった。
- ・プレゼンテーション活動では、自分のパートを暗記し、発表することができた。
- ・聞く側は、プレゼンテーション中、ワークシートに前向きにとりくんでいた。
- ・大勢の先生に圧倒され、本来の力を出せなかった生徒もいるが、次回の課題は感情を豊かに、イントネーションに注意して発表することである。

【研究協議】

(テーマ) 自己表現力を高めるための工夫	(指導・助言者) 熊取町教育委員会 指導主事 林 栄津子 先生
-------------------------	---------------------------------------

(研究協議で出された意見)

- ・本時の文法項目を Greeting でチャンツとして導入することで、親しみを持ちとりくむことができていた。良い雰囲気チャンツを歌っていた。
- ・生徒同士、そして生徒と先生の関係が上手く築かれていた。
- ・今月のメッセージの導入をひと工夫加えらるともっと良い。(隠して言わせるなど)

- ・導入のグループワークは班全員で協力し真剣にとりこんでいたので良かった。
 - ・導入で、封筒に入れる紙の1枚を白紙にしておき、考える力を育てるとより良い。
 - ・発表に行く際、服装を正している生徒があり、日頃の先生との関わりを感じた。
 - ・プレゼンテーション活動ではほぼ全員の生徒が自分のパートを暗記し発表していた。
 - ・緊張のあまり上手く言えなかった生徒もいるが、聞く側の姿勢が良かった。
 - ・プレゼンテーションを聞いている時、聞き取った単語や文をたくさん書いていた。
 - ・書く、聞く、話すの3技能が使われていた。(準備段階では資料を読んでいた。)
 - ・「本日のキラキラさん」を評価欄に書くスペースがあるのは非常に良い。
 - ・キラキラさんの名前だけでなく、選んだ理由を英語で表現できるようにスペースをあけておくと生徒の「書く力」も育てることができる。
-

(結論又は要約)

1. 授業は動機付けが大切である。→コミュニケーションを楽しませる。
2. 「できた！」という実感や達成感を味わわせることが大切である。
→達成感のある授業作りの工夫→評価することで自信を持つ生徒がたくさんいる。
3. 明確な課題設定をすることが大切である。①どんな場面 ②誰に など。
4. 一度だけではなく、何度も何度も繰り返して行うことが大切である。
5. 記憶のメカニズムはイメージが大切である。①意味記憶 ②エピソード記憶
6. 4技能を統合する時間を設けることが大切である。
聞く→話す、読む→話すの順で行うと効率が良い。